

住民等との協働で進める 男女共同参画のまちづくり

男女共同参画社会の実現には、地域社会のあらゆる場面において、県民の皆さん、各種団体、企業、行政がそれぞれの立場で取り組んでいくことが重要です。

特に、県民の皆さんの自主的な取組は、行政の働きかけとは異なる効果が期待できることから、県では、今年度から、こうした県民の皆さんの自主的な取組を支援するべく、「男女共同参画まちづくり事業」を展開しています。その中からいくつかの取組をご紹介します。

多度町・東員町男女共同参画まちづくりリーディング委員会

わたしたちのリーディング委員会は、「日本まんなか共和国女性サミット」や、スエックのフォーラムなどに参加し、今度は、自分達で「男女共同参画」を地域で推進したいという思いを持って集まった多度町と東員町の住民8人と行政職員で構成されています。

わたしたちの方針は、「徒歩で出かける最寄りの会場で、参加しやすい講座」「男女共同参画という言葉になじみのない方、中学生、高校生から高齢者まで、働き盛りのお父さんも主婦も幅広く参加してもらいたいこと」「自分達が講師になっていられる時間帯に公民館へ出向いて意見交換をする」という三本柱にしました。

そこで、今年度は、委員が住む地区の公民館で、気付きの絵を使って意見交換をしました。最初は、考えを述べることに抵抗を感じていた人たちも、帰りには、お友達を誘えばよかったとの感想が出るくらい実りの多い講座になりました。今後、身近なジェンダーバイアスに気がついて、徐々に男女共同参画の意識が広がっていけばよいなと思っています。



CHA・CHA・CHA倶楽部

この名前は、南勢志摩県民局管内の委員会の愛称です。(Chance(機会) Challenge(挑戦) Change(変革)の「Cha」をとって命名されました。今年度は以下のテーマで事業を行いました。

①「多様なニーズに対応する子育て」

男女共同参画を子育ての切り口から検証し、学び、話し合い、現代の私達とそれぞれの地域にふさわしい支援システムや若者男女共同して創りあう地域づくりを考えていきました。

第1回「地域の子育て・子育ての歴史」

平成14年10月2日(水) 伊勢庁舎

講師 皇学館大学 櫻井治男教授

第2回「楽しい子育てを見つけませんか」

平成14年11月28日(火) 度会町役場

講師 広岡 立美(石川県議会議員)

第3回「子育てリラクゼーション」

平成15年3月12日(水) 度会町役場

講師 北村 年子(ルポライター)

②「地域に応じた効果的な意識啓発」

映画というツールを使って、ちょっと保守的(?)な伊勢志摩地域に向けてフェミニズムに基づいた女性のセクシュアリティのあり方を考えました。

「百合祭」上映と監督、脚本家のトークショー
平成14年10月26日(土) いせトピア



伊賀男女できらめく委員会

伊賀地域の男女共同参画によるまちづくりを、男性4名、女性10名からなる15名が集まり、市町村の担当者や県民局の担当者に加わって実施しています。

地域で、自分達がやりたいことはどんなことを紹介し合い、お互いの思いを意見交換しながら、男女の自立を進めていくことや、DVの防止への啓発を行うこと、地域ぐるみで子育てを考えることから、実践する企画をしました。

その一つに、男性にも、もっと家事参加をしてもらうことを目的に、今まで台所と縁のなかつた皆さまへとして「男の自炊教室」を行いました。15名の参加者の年齢は様々でしたが、興味は旺盛で、スーパへの買い物から、慣れない手つきでの大胆な料理、その後、初めて自分達がつくった料理を味わいながら男同士の初めての体験に笑いの花が咲きました。そして、皆さん少し自信をつけた様子でした。

この他にも、女性の木工教室やCAPのワークショップなどを企画し実施しています。これからもどんどん様々な企画を展開していこうと思っています。皆さんもこうしたまちづくりに参加してみませんか。

☆ホームページ

<http://www.prefmie.jp/GSEIKAN/HP/>



尾鷲生活創造園男女共同参画リーディング委員会

平成14年6月、紀北地域の11人が集まって発足しました。メンバー構成は男性4名、女性7名で、これに市町村及び県民局の担当が加わり委員会を運営しています。

右も左もわからないままスタートすることとなった委員会ですが、紀北地域の課題として、まず「住民の皆さんに男女共同参画について知ってもらうことが大切」なのでは?という意見が出ました。第1回目事業として男性から見た男女共同参画というテーマで、元旅行代理店社員の男性を講師に招き、当時の企業、社会、家庭等の話題を中心に講演いただきました。

そして第2回目は、1月22日に男性対象の料理教室を開催。慣れない料理に苦戦しながらも、皆さんがなんとか試食までこぎつけた時の充実感!たぶん男女共同参画を肌で感じていただけたと思います。もちろん料理の味も◎でした。

今後もあるだけ住民の方にわかりやすく、参加しやすいような事業を展開していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。



熊野生活創造園男女共同参画リーディング委員会

私たちは、「男女を問わず、みんなが地域づくりに参加できるシステムをつくりたい」という遙かに仰ぎ見る目標を抱きながら、今この地域に必要なことは何かを検討し、家庭や社会に見られる男女の意識のずれを探り、その解消を今年の行動目標にしました。

まず、11月中旬に管内4カ所で、イラストを見ながら感じたことを話し合う意見交換会を実施しました。

男女の意識のずれや地域の特徴を把握するには至りませんが、皆さんの生活実感の違いに基づく様々な想いを共有することができました。

そして、2月2日(日)には委員会メンバー自作自演の朗読劇と武村泰男さん・武村洋子さんご夫妻による対談とで構成したフォーラム「こんな気持ちで確かにあるよね」を実施しました。

朗読劇に対するコメントをいただいた後、人権や平等という側面だけではない男女共同参画の理念を地域の皆さんとともに学ぶことができました。



平成14年度アイリス21トップセミナー

激動の21世紀をどのように生き抜くか

■と き：平成14年12月21日(土) 13:30~15:30
■と ころ：三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」多目的ホール
■主 催：アイリス21推進連携会議・三重県

県内各分野のリーダー的な立場の方々男女共同参画社会についての理解を深めていただく機会として平成10年度から開催している「アイリス21トップセミナー」。

今年度は、前半を国の男女共同参画会議議員で東京家政大学教授の樋口恵子さんによる講演、後半を樋口恵子さんと北川正恭(三重県知事)の対談という内容で開催しました。

その一部を要約してご紹介します。

講演

「21世紀の社会構造」

樋口 恵子 さん

三重県の皆さんこんにちは。年の暮れも押し詰まった中、大勢おいでくださいました。今日は「時の人」北川知事のお話を聞きたいからだとは思いますが、しばらく前座にお付き合いください。

ロスト・デイクイド(失われた10年)、これは米国のエコノミストが言った言葉だそうですが、確かにバブル崩壊後の日本を考えますと、ごもつともと思う面も

あります。しかし、もうちょっと90年代を別の側面から見られないだろうか。サクセスフル・デイクイド(成功した10年)とまではいかないけれど、何か得たものがあるんじゃないかと思っています。探してみると、実は結構色々なことがあったんです。例えば、三重県に北川知事が誕生した。これもそうした流れの中

